

2023年8月29日

## 第71回日本PTA全国研究大会広島大会参加感想

大阪府PTA協議会 会長代

羽曳野市立高鷲南中学校PTA会長

小坂良次

2023年8月25日（金）26日（土）両日 広島県にて行われた。  
第71回日本PTA全国研究大会広島大会に参加して参りました。

### 大会趣旨として

『学びの変革』コンピテンシーの育成を目指した主体的な学びの充実

- ① 課題解決に効果的に活用できる知識・技能
- ② 課題解決に必要な思考力、判断力、表現力
- ③ 課題解決を支える人間性、学びに向かう力他

### 大会スローガン

『変化の時代に向け、PTA自身が学びの変革を！』

### メインテーマ

- ① 家庭、学校、地域の連携を深めるPTA活動
- ② 学びの変革を推進するPTA活動
- ③ 学びを深めるPTA活動
- ④ 豊かな心を育むPTA活動

### 分委会内容としての研究テーマ

第一 子供の力を引き出す家庭教育のあり方

：講師 大日向雅美 恵泉女学園大学学長

第二 すべての子供たちの豊かな学びを実現するために

：講師 小熊広宣 全国不登校新聞社事務局長

### 第三 学校教育と地域の連携をどう進めていくか

：講師 山川肖美博広島修道大学教授

### 第四 子供のかげがえのない命と尊厳を守る

：講師 石川結貴ジャーナリスト

### 第五 P T A の活性化を図る効果的な広報活動の在り方

：講師 道佛一郎(株)インフレックス代表取締役

### 第六 予期せぬ災害から大切な命を守るために

：講師 あんどりうす兵庫県立大学大学院院減災復興政策研究科博士課程

他に特別第一分科会 世界で活躍する人材を育むために

特別第二分科会 教育の情報化の推進

以上八分科会に分かれ 1 日目は開催され私は第六分科会 大阪府 P T A 協議会でも取り組みを行っている防災関連防災教育の分科会に参加させて頂きました。

#### 1 日目分科会参加

研究課題 『予期せぬ災害から大切な命を守る』

～今、できること・考えておくべきこと

講師：あんどりうす氏

2018 年（平成 30 年）7 月に発生した西日本豪雨 広島県全域での甚大なる被害が出た。それ以降も日本各地での様々な天災に見舞われている、災害に対する子供や大人の意識をより高めるために、今私たちができる事は何かを考え地域連携して大切な命を守る為に『防災教育』を今目的課題（地域課題）として学ぶ

#### 討議の視点

- ① 想定外の災害に備えて、考え準備しておくべきこと

防災研究所の地震 10 秒診断を活用

<https://nied-weblabo.bosai.go.jp/10sec-sim/>

現在地の具体的な今の状況把握の重要性を学ぶ。また地震のリスクを知る。

親子で楽しく学ぶ夏休み耐震実験

<https://youtu.be/i9GLwyLexn0>

具体例をいろいろな形にて紹介され備え具体例での把握の大切さを学ばせて頂いた。

- ② いざという時のため、防災情報や人的ネットワークなど活用する力を育むために

使えるアプリのご紹介

教えてドクター

<https://oshiete-dr.net/>

東京都防災アプリ <https://www.bousai.metro.tokyo.lg.jp/1005744/index.html>

ハザードマップの活用の重要性

情報を読み解き自分で避難スイッチを入れることの重要性。

- ③ 子供たちを守るため、PTA 組織としてどう活動していくべきか

地域学校周辺での現状把握（ハザードマップ）の確認。

避難を妨げるあるあるを事前に退治、『あるある』要因を考える。一人ひとりが違う

状況、家族構成、年齢、

定期的な啓蒙活動の実施

上記で学んだことを大阪府 PTA 協議会 委員会にて今後アウトプットを行い共有 資料を作り生かさせていただきます。

また子どもたちにも興味がわく内容わかりやすいコンテンツのご紹介もされており共有できればと考えています。たくさんの気づきを頂きました。

## 大会 2 日目

広島大会オープニング 『広島ジュニア マリンバ アンサンブル』の演奏にて開幕  
小さな子からちょっと大きな子までとてもよく練習を常日頃からされているのが良くわかる素晴らしい演奏を視聴させて頂きました。（これだけでもお値打ち！！）

その後、国家斉唱、日本 PTA の歌斉唱・・・子どもたちの（素晴らしい） マリンバ演奏パフォーマンスを視聴後、大人もいつもより大きな声で歌っていたと個人的には思います（笑）

## 全体会記念講演

【演題】 心のトリセツ

講師 黒川伊保子氏

プロフィール・・・1983 年奈良女子大学理学部物理学科卒業

1988 年 ヒトと人工知能の研究 全国の原子力発電所で稼働し女性司書 AI、大型凡用ビジネス環境での『世界初』インターフェイス実現。

研究の途上で『情がからむとっさの』対話スタイルに男女差がある事を発見。

AI 分析の手法を用いて 世界初の語感分析法である『サブリミナル・インプレッション導出法』を開発、マーケティングの世界に新境地を開拓した 感性分析の第一人者。

主な著書 『妻のトリセツ』『家族のトリセツ』

### 【講演】

『学びの変革』 急激な変化が予測される今後の社会情勢を乗り切るために 保護者も子どもも新たな学びが必要。学びを支える大きな柱は、時代の変化に対応し困難に出会ってもあきらめず、自らを変えていこうとする意欲である。

脳科学の立場からの見解、新しい時代を生きる子供たちの育成に大きなヒントを頂く。

### まず「遊ぶ」から始めよ

b y 為末大氏

何事も「まず好奇心の赴くままに」が大事

よくできた型で合理的な指導をすれば「優秀」「一流」までは手っ取り早くたどり着く  
ただしその先（超一流、そのひとらしくのびやかに活躍する）に行けない。

### スランプから抜け出せず、逃げ出すことに

脳と骨の使い方が一人ひとり違うので最後は自分と向き合って微調整する必要がある。

遊びから入った人の脳にはじぶんと対象を繋ぐ情報がたくさんあるが「よくできた型」で学んだ人にはそれがない。

※無駄に見える事もしっかりと遊ぼうと思いました。楽しまないよね・・・感想

### 監督が怒ってはいけない大会

b y 益子直美氏

結果や責任で追いつめると

「余計なことを考えず、がむしゃらに突き進む脳神経回路」を活性化する。

一方で「発想力、対話力、長期の戦略力」の回路を阻害する。

「千回走れ」と言われれば迷わずがむしゃらに走る人間を育てるのに向いていた。

20世紀は。がむしゃらで勝てる時代/社会でも「みんなと同じ答えが出せる、優秀な歯車人間は必要とされたからスポーツ界のそれをよしとした

※指導する側の知識勉強が問われる。時代とともに社会環境への対応力は必須。

「とっさの思考回路」には2種類ある。

問題が生じたとき

「ことのいきさつ（プロセス）を反芻して気づきを起こそうとする人。

「今できる事（ゴール）」に意識を集中してさっさと動き出そうとする人がいる。

基本の優先側があり、立場により切り替わる。

### 優先側の異なる2人は、鉄壁のペア

※嫁とよく話し合います。（役割について(笑)）

この世の対話には2種類ある。

問題解決型・・・今できること派

共感型・・・ことのいきさつ派

とにかく「いいね」か「わかる」で受ける

ポジティブ・提案系・・・欧米人に多い

ネガティブ・相談系・・・日本人に多い

こころの通信線+事実の通信線

いきなりの「ダメ」は自己肯定感を下げってしまう

日本人は相手の意見を否定する時、主語をつけずに「ダメ」「無理」という言い方をする。

暗黙の主語は「世間」つまり上から目線の全否定

あるいは「あなたはダメ」というように聞こえる。（**タスクへのダメ出しなのに相手には人格否定に聞こえる**）

自己肯定感を損ねてしまう

英語では主語を省略できないので「私には別の意見がある」「私は無理ではないと思う」という言い方になる。

**相手の人格を尊重**したまま**事の是非だけ論じる**ことができる。

※言葉は文化です。勉強になります。

## 心理的安全性

Google の社内調査で明らかになった事/効果の出せるチームは「心理的安全性 psychological safety が確保されている」心理的安全性とは「なんでもないこと（ちょっとしたきづき）をしゃべれる安心感」

「言うとおもひをする」と感じて発言をとめると脳は発想そのものを停止してしまう。

**「頭ごなし」の対話は、あいての発想力と自己肯定感を奪ってしまう。**

※肝に命じて今後の生活に役立つ情報ですな

**無理な仕事を断るときもできること（結論）から言う。**

共感型「ことのいきさつ」の脳は、「できない事情」が浮かぶ。問題解決型（今できる事）の脳は、〈今できる事〉が浮かぶ『このテスト、火曜日までに終わらせて』

**『それ無理ですよ、あれもしてるし、これもしなきゃならないし』**

**『火曜日までなら 8 割終わらせて経過レポートが書けます。すべて終わらせるのはもう 2 日要ります。』**

※モノの伝え方 一つでできる人、できない人と、伝わり方を考える必要がある。との再認識。

## 指先タイプ、手のひらタイプ

力をこめる時、自然に指先がまとまり指先に力が集中するタイプ。

手のひらに集中するタイプ

2 種類の体を動かすタイプの人がいる。

### 指先タイプ

段取り上手（せずにはいられない）勘が良く何をするにも GOOD ビギナー（スピーディーでスマート）

最初がうまく行くので時に世間をなめ思い込みが激しい/不測の事態にイラつき投げ出す傾向

### 手のひらタイプ、貯めは要る

『貯め』が不可欠なスロースターター/動き出すのに時間がかかるので周囲をイラつかせる傾向。

ただしあきない&あきらめない。不測の事態にイラつかず、くふうしてふんわりと切り抜ける。（タフで優しい）

## 『パフォーマンスを出せる所作』が違う

指先タイプの剣道の指導者は「躊躇せずに前に出る」

手のひらタイプはいったん足裏全体に圧をかけて踏ん張らないと前に出られない

出足はわずかに遅れるが後半の加速がよく打突が強い為遜色はない。

指導者は弟子の個性を見抜くべき/自分の成功事例を押し付けるのではなく

**この世に才能のない脳はない、適せややり方が違うだけ。**

※ヒトにはタイプが2種類あると先生、指先型、手のひら型、的確な指導法も大事。

**人生に劣等感なんていらぬ。**

どうしてもできないこと、何度も同じ失敗を繰り返すことがあるならやり方を変えればいい。**憧れの先輩のようにできなかつたら、必ず「自分にできて、そのひとにできない事」がある。**

それをみつけて自分の個性をのばし、相手に一目おかせればいい。

本物の大人には劣等感なんて言葉はない。

他者にもそれを適応できるので他人を見下すこともない。

※心にしみますな。

**失敗を未然に防ぐと脳はセンスが悪くなる。**

脳は寝ている間に回路を書き換える。

失敗して痛い思いをするとその晩、失敗に使った関連回路に信号が行きにくいようになる。

失敗すれば「不必要な回路がわかりとっさにそこに信号が行かなくなるため「正しい道」を直観で選べる脳に変わる。

勘がよくセンスが良く発想力、展開力、理解力のある脳は失敗が作る。

**失敗した人にかける言葉**

『私も〇〇してあげればよかった』

※専門分野からのご講演で知らない事をたくさん学ばせて頂きました。

今度生活全般で活かしていければと感じるご講演でした。

## 【まとめ】研究大会 2 日間を通じて

2 日間ともに同じ大阪府 PTA 協議会メンバーと過ごさせて頂き皆さまありがとうございました。

大人になり自分が所属する会社他以外でなかなか交わる事がない機会を頂き  
たくさんの学びまた、発見ができ有意義なお時間を共有できた事を大切にしたいと感じました。

また講演ごとにメンバー同士の意見交換、雑談等も良い経験でした。

今後リテラシーを高め他のメンバ共により良い子どもたちの環境創りに活かして参ります。

ありがとうございました。

以上